

読後、本を閉じて その景色を思いうかべて 泣いた。

すごく、すこく切ないのに
眩しい程の **メグル** **女王** がある

ラストの3行に胸がいっぱい

うっの小さな奇跡に、どうしようもなく惹きつけられるのです。
それが哀しくて、怖くても、じ〜んとする話ならなおのこと。
特に『タベル』『メグル』は感涙を誘う傑作ですよ！

メグル
乾ルカ

乾ルカ、恐るべし！ 読者満足度の高い1冊です。